

Casting Our Eyes  
on the Future

視線はまっすぐ未来へ



# Financial Report

第89期年次報告書

平成21年4月1日～平成22年3月31日



Ahresty

株式会社 アーレスティ

証券コード：5852



# Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

---

タグライン「Casting Our Eyes on the Future」は、その社名に込められた企業理念を実現すべく、アーレスティで働く者すべての視線が、常にお客様、地球環境、そしてアーレスティ自身の未来へ向けられ、Research (研究・開発)、Service (サービス)、Technology (技術)において常に主導的リーダーに立ち前進しようという企業姿勢を具現化したものです。

なお、“Casting”は、“投げかける”という意味の他に、当社の主要事業である“Die Casting”の意味も込めています。

タグライン：タグラインは、アーレスティブランド、企業理念を社内外へ発信する究極的なメッセージであり、コーポレートシンボルとセットで使われる言葉です。

# (a:resti)

これからは、より質の高い  
Research, Service, Technologyを  
追求していきます。

アーレスティはR・S・T、Research、Service、  
Technologyこれらの三つの言葉の統合ですが、  
Rは単に研究・開発だけでなく、  
どうしたらもっとお客様のお役にたてるかの創意と探求、  
Sは製品の品質やアフターサービスだけでなく、  
お客様とのすべての接点で、  
そしてTはこのRとSをささえる知識と  
技術を考えています。  
この社名に込められた企業理念を大切に生かし、  
様々な製品を通して、  
広く社会のお役に立ちたいと願っております。

## CONTENTS

株主の皆様へ	2
経営基本方針	3
コンプライアンス基本方針	4
環境方針	4
事業の概況	5
事業別の概況	6
連結財務諸表	7~8
トピックス	9
株式情報・会社の概要	10

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

ここに、第89期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)の事業の概要につきまして、ご報告いたします。

今後とも事業の発展に全力を尽くしてまいる所存です。

株主の皆様におかれましては、一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申しあげます。

平成22年6月



代表取締役社長

高橋 新

経営  
基本方針

常に生きいきと活動し理論と実験と創意と工夫を尊重して、  
品質のすぐれた製品と行き届いたサービスを提供しよう

## (1) 経営の基本方針

当社の社名アーレスティは、ResearchのR、ServiceのS、TechnologyのTを続けて読んだものであります。Researchとは絶えることのない新技術・新市場・新しい販売方法の開発・研究調査、Serviceとは人と人とのふれあいのなかで本当に行き届いた温かいサービス、Technologyとは世の中に役立つ真によいものをハードとソフトも含めて創ってゆく技術を意味します。このRとSとTは、お互いに深く支え合いながら、お互いをよりすばらしいものへと磨きあっていくという有機的な関係にあります。私たちは、このような考えのもとにResearch、Service、Technologyを統合した思想を企業理念として「アーレスティ」を社名としております。

当社の長期的な経営の方向性を示した「アーレスティ10年ビジョン」では『『すべてのステークホルダーから信頼されるグローバルトップ企業』をめざす』ことを基本の方針とし、顧客・株主/投資家・従業員・取引先・社会の5つの利害関係者の視点に立って「信頼される企業」となるためにはどうすべきかという観点であるべき姿を描き、具体的な指針・手段として方針を定めております。この10年ビジョンをベースに中期経営方針（1012 3ヵ年アーレスティ方針）では、より具体的な施策・目標値を設定し、更に部門方針へと展開して全社的な活動を推進しております。

## (2) コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、株主をはじめとする全てのステークホルダーに対する経営責任と説明責任を明確にするとともに、高い透明性を伴った経営体制を確立することで、当社グループ全体での収益力の拡大と企業価値の増大を目指しております。さらには内部統制システムとリスク管理体制を充実させ、グループ

子会社の事業活動についても管理・監督を行う経営システムの構築を図ることをコーポレート・ガバナンスの基本的な方針と考え、重要な経営課題であると認識しております。

## コンプライアンス基本方針

株式会社アーレスティは、コンプライアンスの基準として、この基本方針を制定し役員および従業員は、自らの行動または業務遂行のための行動において、これを遵守します。

- 1 私たちは、全てのお客様の満足・信頼を旨とし、品質や安全性に配慮して、優れた製品と行き届いたサービスの提供をします。
- 2 私たちは、お客様の安心・信頼を念頭に置き、あらゆる法令を遵守し、高い倫理観と責任感を持って行動をします。
- 3 私たちは、公正で透明な取引関係を構築し、健全な事業を行います。
- 4 私たちは、継続的な企業価値の増大を追求し、魅力ある企業を目指します。
- 5 私たちは、お互いに人格・価値観を尊重し、健康かつ安全な職場環境を目指します。
- 6 私たちは、会社財産を保護し、適正に取り扱います。
- 7 私たちは、全ての利害関係者から不信を招くことがないように、健全かつ正常な関係を維持・確立します。
- 8 私たちは、地球環境への配慮を会社の重点課題として認識し、環境保全に向けて自主的かつ積極的に行動します。
- 9 私たちは、グローバルな視野を持って、地域の文化や習慣を尊重し、社会への貢献に向けて行動します。
- 10 私たちは、企業市民として広く社会とのコミュニケーションを行い、地域の発展と快適で安全な生活のための活動に協力し、地域社会との共生を目指します。

## 環境方針

かけがえのない地球を守るのには私たちの大切な役割です。株式会社アーレスティの環境への取組みをご紹介します。

- 1 私たちは私たちの開発、生産、販売、廃棄の活動が地域環境と深く関連し影響を与えていることを明確にとらえ、環境目的・目標・実施計画を定め、それらを必要に応じて見直し、環境保全活動の継続的な改善をはかります。
- 2 私たちは国・地方公共団体・利害関係者などの環境規制、規則、協定などの要求事項を順守し、さらに技術的・経済的に可能な範囲で自主基準を定め、一層の環境保全に取組みます。
- 3 私たちは特に次の事項について優先的に活動し、環境保全と汚染予防に取組みます。
  - ①大気汚染、水質汚濁に関する施設・工程の管理・改善を徹底します。
  - ②廃棄物の再資源化100%を維持します。
  - ③廃棄物総排出量の減量、アルミリサイクル事業の拡大を推進し、循環型社会へ貢献します。
  - ④CO<sub>2</sub>排出の抑制をはかり、地球温暖化防止への配慮をします。
  - ⑤環境に配慮した製品および商品の開発・設計に取組みます。
- 4 私たちは従業員一人ひとりの環境保護意識の向上をはかるため、教育・啓蒙活動を継続的に行います。
- 5 私たちは良き企業市民として、地域社会の環境保全に努め、地域との共生をはかります。

～私たちはこの環境方針を社内外を問わずに公表いたします～

# 事業の概況

## ■企業集団の事業の経過および成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、内外の在庫調整の進展、海外経済の回復を背景とした輸出や鉱工業生産の増加に支えられ、回復基調を示しました。個人消費は厳しい雇用・所得環境が続く中、定額給付金、エコカー減税等の政策効果から底堅い動きが続きました。雇用に関しては依然として厳しい状況が続いたものの、年度末にかけて改善の傾向が見られました。

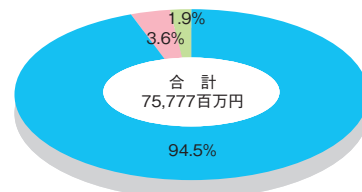
企業収益は、国内において年度前半は大幅な落ち込みを示しましたが、年度後半には、輸出の回復や原材料費、人件費等のコスト削減効果から回復基調を示しました。設備投資は、年度前半は企業収益の落ち込みを背景とした減少傾向にありましたが、企業収益の回復を受けた年度後半には、下げ止まりの動きとなりました。

海外においては、米国では景気の後退が続いていましたが、米国政府の政策効果により第2四半期以降プラス成長へと転じました。アジア地域においては、中国における景気刺激策の効果もあり、内需を中心に拡大基調を示し、また、インドも同様に景気刺激策の効果により、景気は内需を中心に回復を示しました。

このような環境の中で、当社の受注も国内外自動車メーカーの減産の影響を受け昨年度に続き売上高は大幅な減収となりました。損益については、受注減少に応じた生産体制への移行と経費削減を引き続き進めたこともあり、昨年度と比べ大幅に改善しました。

当連結会計年度の業績は、売上高75,777百万円(前年同期比27.7%減)、営業利益526百万円(前年同期は営業損失2,665百万円)、経常利益564百万円(前年同期は経常損失4,265百万円)、当期純損失59百万円(前年同期は当期純損失6,772百万円)となりました。

## ■事業別売上の状況

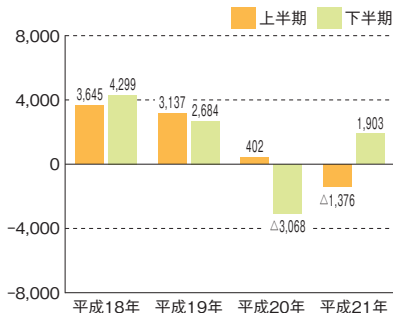


ダイカスト	71,638百万円
アルミニウム	2,687百万円
完成品	1,451百万円

## ■業績の推移 (連結)

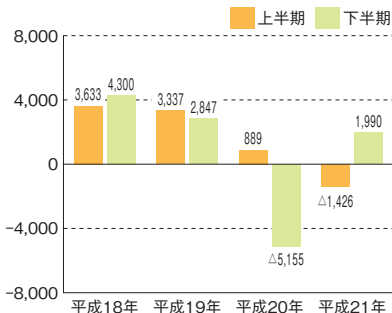
### ■営業利益

(単位:百万円)



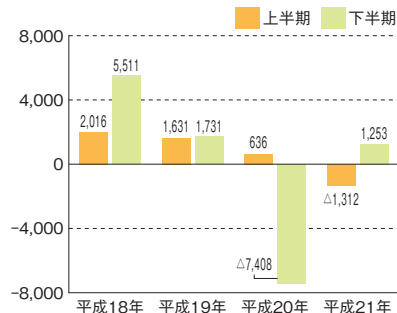
### ■経常利益

(単位:百万円)



### ■当期純利益

(単位:百万円)

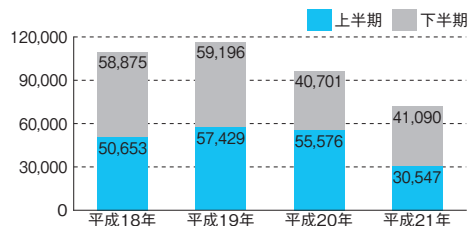


## 事業別の概況

### ダイカスト事業

ダイカスト事業においては、各国政府の自動車購入支援策等の影響により、主要顧客である自動車メーカーの販売減少に歯止めがかかり、ダイカスト需要は緩やかに回復しつつあります。新興国市場では、内需を中心とした旺盛な需要により自動車生産台数が増加しており、これを受けて当社における受注も増加しました。一方、日本を含む先進国市場では、受注は回復傾向にあるものの、依然として低水準で推移したことにより、売上高は71,638百万円（前年同期比25.6%減）となりました。収益面においては、原価低減活動、設備投資の抑制、また受注に見合った人員体制の見直し等の効果もあり、営業利益は608百万円（前年同期は営業損失2,825百万円）となりました。

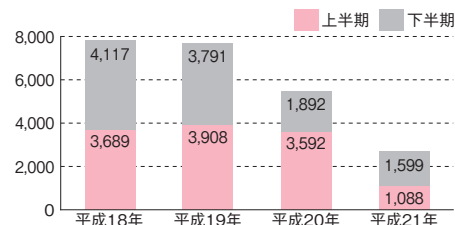
■売上高（連結） (単位:百万円)



### アルミニウム事業

アルミニウム事業においては、景気低迷によるアルミ地金の需要減と地金市況急落の影響等により、売上高は2,687百万円（前年同期比51.0%減）となりました。また、収益面においては、在庫削減や生産体制の見直しを図りましたが、年初での損失額を挽回することが出来ず、営業損失は49百万円（前年同期は営業損失88百万円）となりました。

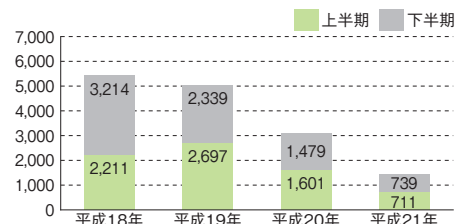
■売上高（連結） (単位:百万円)



### 完成品事業

完成品事業においては、主要販売先である半導体関連企業の設備投資の中止または延期の影響を大きく受けたことにより売上高は1,451百万円（前年同期比52.9%減）となりました。収益面においては、経費の圧縮による販売費の削減に努めましたが、売上高減少の影響が大きく、営業損失は30百万円（前年同期は営業利益221百万円）となりました。

■売上高（連結） (単位:百万円)



## 連結財務諸表

## Consolidated Financial Statements

## 連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当 期	前 期	科 目	当 期	前 期
	平成22年3月31日現在	平成21年3月31日現在		平成22年3月31日現在	平成21年3月31日現在
<b>資 産 の 部</b>			<b>負 債 の 部</b>		
流 動 資 産	34,472	33,391	流 動 負 債	29,650	28,132
現 金 及 び 預 金	5,267	7,444	支 払 手 形 及 び 買 掛 金	15,059	13,161
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	20,246	17,118	短 期 借 入 金	2,942	2,219
商 品 及 び 製 品	1,732	1,575	1 年 内 返 済 予 定 の 長 期 借 入 金	6,045	5,574
仕 掛 品	2,792	3,080	未 払 法 人 税 等	98	211
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	2,353	1,965	賞 与 引 当 金	1,147	907
繰 延 税 金 資 産	736	616	役 員 賞 与 引 当 金	1	2
そ の 他	1,347	1,595	そ の 他	4,356	6,055
貸 倒 引 当 金	△ 3	△ 6	固 定 負 債	23,077	24,253
固 定 資 産	53,505	53,169	長 期 借 入 金	15,424	16,934
有 形 固 定 資 産	46,228	47,238	繰 延 税 金 負 債	3,732	3,331
建 物 及 び 構 築 物	10,047	9,660	退 職 給 付 引 当 金	3,485	3,281
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	20,714	20,150	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金	122	161
工 具 、 器 具 及 び 備 品	3,508	3,772	負 の の れ ん	165	444
土 地	5,803	5,951	そ の 他	147	98
リ ー ス 資 産	56	11	負 債 合 計	52,728	52,385
建 設 仮 勘 定	6,098	7,692	<b>純 資 産 の 部</b>		
無 形 固 定 資 産	620	830	株 主 資 本	36,822	36,882
の れ ん	—	138	資 本 金	5,117	5,117
そ の 他	620	692	資 本 剰 余 金	8,363	8,363
投 資 そ の 他 の 資 産	6,656	5,100	利 益 剰 余 金	23,698	23,758
投 資 有 価 証 券	6,131	4,531	自 己 株 式	△ 358	△ 357
繰 延 税 金 資 産	182	264	評 価 ・ 換 算 差 額 等	△ 1,640	△ 2,765
そ の 他	343	312	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1,795	954
貸 倒 引 当 金	△ 2	△ 8	為 替 換 算 調 整 勘 定	△ 3,435	△ 3,720
資 産 合 計	87,977	86,560	新 株 予 約 権	67	58
			純 資 産 合 計	35,249	34,175
			負 債 純 資 産 合 計	87,977	86,560

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



**■ 連結損益計算書（要旨）**

（単位：百万円）

科 目	当 期		前 期	
	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで		平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	
売 上 高		75,777		104,843
売 上 原 価		67,090		98,172
売 上 総 利 益		8,686		6,671
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		8,159		9,337
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 (△)		526	△	2,665
営 業 外 収 益		624		816
受 取 利 息 及 び 配 当 金		72		133
負 の の れ ん 償 却 額		279		456
為 の 替 差 益		78		-
そ の 他		194		225
営 業 外 費 用		587		2,416
支 払 利 息		459		312
為 替 差 損		-		2,045
そ の 他		127		59
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 (△)		564	△	4,265
特 別 利 益		183		121
固 定 資 産 売 却 益		177		8
関 係 会 社 清 算 益		-		100
貸 倒 引 当 金 戻 入 額		6		-
そ の 他		-		11
特 別 損 失		830		1,346
固 定 資 産 除 却 損		173		230
減 損		-		711
早 期 割 増 退 職 金		-		350
関 係 会 社 清 算 損		167		-
特 別 退 職 金		43		-
製 品 補 償 費 用		420		-
損 害 賠 償 金 他		16		-
そ の 他		9		54
税 金 等 調 整 前 当 期 純 損 失 (△)	△	82	△	5,491
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		146		603
法 人 税 等 還 付 税 額		-	△	399
法 人 税 等 調 整 額	△	169		1,076
当 期 純 損 失 (△)	△	59	△	6,772

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

**■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）**

（単位：百万円）

科 目	当 期		前 期	
	平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで		平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー		9,112		9,404
投資活動によるキャッシュ・フロー	△	10,341	△	15,476
財務活動によるキャッシュ・フロー	△	232		9,841
現金及び現金同等物に係る換算差額	△	39	△	372
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△	1,500	△	3,397
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△	507		-
現金及び現金同等物の期首残高		7,274		3,877
現金及び現金同等物の期末残高		5,267		7,274

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## トピックス

### Topics

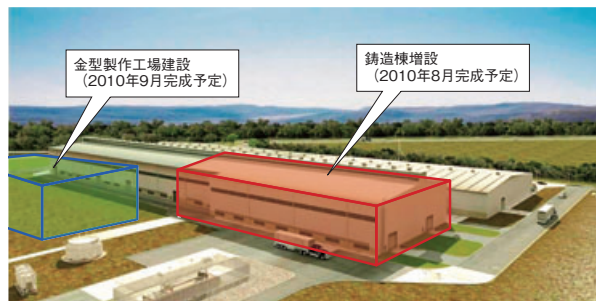
#### アーレスティメヒカーナ 鋳造工場の増設 金型工場新設

当社子会社であるアーレスティメヒカーナ S.A.de C.V.は、2006年設立、2007年8月より稼働を開始し、順調に成長してまいりました。

新規受注への対応と、コスト競争力強化のため第4期工事として鋳造棟を増築し、更に金型工場を新設し金型製作を現地化することとなりました。

##### 工場の概要

所在地 メキシコ サカテカス州グアダルペ市  
敷地面積 100,000㎡ 建物面積 26,560㎡ (完成後)  
設備 ダイカストマシン  
2500トン 2台  
2250トン 3台  
1650トン 1台 (2台増設計画により3台)  
800トン 5台 (2台増設計画により7台)  
計 11台 (4台増設計画により15台)  
機械加工ライン 14ライン  
(2ライン増設計画により16ライン)  
投資金額 第4期工事 (生産設備は含まず)  
約US\$4,000,000-



アーレスティメヒカーナ鋳造棟増築、金型製作工場建設予想図

#### 中国において2拠点目となるダイカスト生産子会社を設立

当社は、日本・米国・メキシコ・中国・インドにダイカストの製造販売拠点をもち、日系自動車メーカー及び部品メーカーを中心としたグローバルでのダイカスト需要に対応しております。中国における2拠点目となる生産拠点の設立は、中国市場の旺盛な需要に柔軟に対応し顧客に貢献するとともに、当社のグローバル競争力を一層強化するためであります。

##### 子会社の概要

商号 合肥阿雷斯提汽车配件有限公司  
所在地 中華人民共和国安徽省合肥市経済技術開発区  
設立年月 2010年7月 (予定)  
資本金 20億円 (予定)

事業内容 ダイカスト製品の製造、販売  
生産開始 2011年7月 (予定)  
販売計画 23億円 (2012年度)  
投資額 20億円 (2012年度まで)

## 株式情報・会社の概要

### Stock Information・Corporate Information

#### ■株式状況 (平成22年3月31日現在)

##### ● 株式数および株主数

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	21,778,220株
株主数	4,076名

#### ■大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
高橋 新	915	4.2
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口9)	860	3.9
(株)三菱東京UFJ銀行	765	3.5
本田技研工業(株)	672	3.1
日本軽金属(株)	657	3.0
モルガンスタンレー・アンド・カンパニー・インク	638	2.9
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	618	2.8
HSBC PRIVATE BANK (SUISSE) SA HONG KONG BRANCH - CLIENT ACCOUNT	597	2.7
ザ・バンク・オブ・ニューヨーク・アンド・ロンドン・トラスティ・アカウン	589	2.7
スズキ(株)	565	2.6

(注) 1. 株式数は千株未満を切り捨てて表示してあります。

2. 持株比率は自己株式(238,253株)を控除して計算してあります。

#### ■会社概要 (平成22年3月31日現在)

商号	株式会社 アーレスティ
設立	昭和18年11月2日
資本金	51億1,759万円
従業員数 (単独)	995名
企業集団の従業員の状況	
	従業員数
ダイカスト事業	4,177名
アルミニウム事業	52名
完成品事業	32名
全社 (共通)	212名
計	4,473名

#### 取締役および監査役 (平成22年6月23日現在)

代表取締役社長	高 橋	新
取締役	小 木	旭
取締役	林	禎
取締役	古 屋	一 茂
取締役	石 丸	博
社外取締役	宮 内	忠 一
常勤監査役	熊 木	勉
常勤監査役	見 目	康 夫
社外監査役	早 乙 女	唯 夫
社外監査役	志 藤	昭 彦

#### ■事業拠点一覧 (平成22年3月31日現在)

##### 当社本社・工場

名 称	所 在 地
本社	〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1
東松山工場	〒335-0812 埼玉県比企郡滑川町大字都25-27
熊谷工場	〒360-8543 埼玉県熊谷市御稜ヶ原284-11
浜松工場	〒433-8520 静岡県浜松市中区小豆餅4-14-1
豊橋工場	〒441-3153 愛知県豊橋市二川町字東向山80番地
テクニカルセンター	〒441-3114 愛知県豊橋市三弥町中原1-2

##### 当社営業所

名 称	所 在 地
関東営業所	〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1
浜松営業所	〒433-8520 静岡県浜松市中区小豆餅4-14-1
大阪・関西営業所	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-23-26
厚木営業所	〒243-0014 神奈川県厚木市旭町5-43-14
栃木営業所	〒321-0215 栃木県下都賀郡壬生町大字壬生乙4060
名古屋営業所	〒446-0054 愛知県安城市三河安城本町2-11-7
熊本営業所	〒869-0521 熊本県宇城市松橋町浦川内36

##### 子会社

名 称	所 在 地
(株)アーレスティ栃木	〒321-0215 栃木県下都賀郡壬生町大字壬生乙4060
(株)アーレスティ熊本	〒869-0521 熊本県宇城市松橋町浦川内36
(株)アーレスティ山形	〒992-0832 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥乙65
(株)アーレスティ ダイモールド浜松	〒431-1104 静岡県浜松市西区桜台5-3-10
アーレスティ ウイルミントンCORP.	2627 S.South Street, Wilmington, Ohio 45177, U.S.A.
広州阿雷斯提汽車 配件有限公司	中華人民共和国広東省広州経済技術開発区永和経済区 新豊路7号
アーレスティメヒカーナ S.A.de C.V.	Calle Industria Automotriz #20 Complejo de Naves Industriales la Zacatecana Guadalupe, Zacatecas C.P.98600, Mexico, D.F.
アーレスティインディア Private Limited	Plot No. 194, Sector 4, Growth Centre Bawal, Dist. Rewari, Haryana PIN 123401, India

# 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.ahresty.co.jp/">http://www.ahresty.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

## お知らせ

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。



当社ホームページ  
<http://www.ahresty.co.jp/>

当社ホームページの「IR情報」では、株主の皆様様に最新情報をお届けしております。あわせてご覧ください。

## Research Service Technology

# 株式会社 アーレスティ

〒164-0011 東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル11F  
TEL.03-5332-6001 FAX.03-5332-6037  
URL. <http://www.ahresty.co.jp>



ISO14001:2004認証取得

本社、浜松工場、東松山工場、  
熊谷工場、豊橋工場、  
テクニカルセンター、  
株式会社アーレスティ栃木、  
株式会社アーレスティ熊本、  
株式会社アーレスティ山形



ISO9001:2000認証取得

JUSE-RA-053  
本社(但し、商品営業部を除く)、  
浜松工場(但し、海外支控室を除く)、東松山工場、  
豊橋工場、熊谷工場、技術部、  
株式会社アーレスティ栃木、  
株式会社アーレスティ熊本、  
株式会社アーレスティ山形  
JUSE-RA-057  
商品営業部及び関連組織

